

(別紙1)

令和6年度 実績報告書

(1) 事業名	映画館「THEATER ENYA」の活動を通じた地域活性化事業
(2) 実施期間	実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
(3) 事業目的、背景	<p>(事業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none">①老若男女問わず楽しめる総合芸術である映画上映を通じた地域の文化振興②子どもたちや若者に対して文化教育の機会の創出③高齢者に楽しみや生きがいとなる場を創出し予防福祉へ貢献する④映像制作クリエイターの育成⑤映画を通じた地域の賑わい創出、観光誘致⑥映画祭を通じた文化都市唐津、佐賀としての情報発信、ブランディング <p>(事業の背景)</p> <p>1997年を最後に佐賀県唐津市から映画館が1つもなくなっていました。そんな中、まちづくり会社・いきいき唐津株式会社が、地域活性化のために実施した市民ニーズ調査によれば、唐津のまちに欲しい施設として「映画館」が長年上位にランクしていることが分かりました。</p> <p>少子高齢化が進む地方において、文化振興の担い手は減少し、またそのような機会に触れることも少なくなってきた中で、まちの人が日頃から楽しめる娯楽の場を求めている状況でした。</p> <p>それから8年間、一般社団法人 Karatsu Culture Commission の前身である市民団体「唐津シネマの会」で草の根の活動として定期的な上映活動を行ってきました。そのような活動を通して、私達は、映画は高齢者にとっては日々の生きがいや楽しみとなる予防福祉的な役割を果たすことができること、子ども達や若者にとっては、良質な娯楽であり、文化教育的な役割をもつことができることを実感しました。映画は、脚本、演技、音楽、録音、照明、衣装、メイク、美術などあらゆるアートと技術が融合した総合芸術である一方で、老若男女問わず楽しめる娯楽、敷居の低いエンターテインメントであるため、様々な人がまちにくる目的になります。また、映画はまちに人々が来る目的になり、その前後にまちを回遊するきっかけづくりになると感じました。映画やイベントの内容によっては、県外からお客様がいらっしゃることもあり、地域の観光にも貢献できることを実感しました。</p> <p>8年間の活動を通し、以上のようなことを実感する中で、映画館は「文化のインフラストラクチャー」であると信念を持つに至り、冒頭の目的のもと、日々の活動に努めています。</p>

	<p>(本事業で解決を目指す地域課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化人口減少により地域の文化芸術に触れる機会が減少 ・ 少子高齢化人口減少により若者の文化的なものに触れる機会が減少 ・ 高齢者の増加にともない独居老人や老人の孤独化が深刻化 ・ 地域経済の衰退により暮らす人々の QOL を支える都市機能が低下 ・ 地域への誘客、域内交流、回遊性の向上を高める取り組みが不足 ・ 地域に高校までしかなく、専門学校や大学など高等学校の機関がないため、映像のクリエイター育成の機会、場がほとんど存在しない ・ 文化芸術の機会やその担い手が年々減少している
<p>(4) 事業内容</p> <p>※できるだけ具体的に記載してください。</p> <p>※事業内容を示すフロー図等があれば添付可</p>	<p>(事業の概要)</p> <p>①日々の映画の上映活動 (1ヶ月に約10作品、1日3~4回の上映)</p> <p>※下記は月に2回発行している上映チラシ。</p> <p>上映作品については公式サイト参照 (https://theater-enya.com/)</p> <p>(実施スケジュール)</p> <p>令和6年4月1日~令和7年3月31日</p> <p>(実施地域) 佐賀県唐津市</p> <p>(主な受益者・人数)</p> <p>佐賀県民・11,691人</p>

(実施地域) 佐賀県唐津市

(主な受益者・人数)

佐賀県民および観光客：30人



④大林宣彦監督作品・唐津映画『花筐／HANAGATAMI』聖地巡礼ツアー造成及び開催

⇒ツアーは造成済みだが、開催には至らなかった。

⑤全国からショートフィルムを公募し、ノミネート作品を上映し金銀銅賞を決める映画祭「唐津演屋祭」の開催。映画館は、地域のインフラストラクチャーである一方で、映画祭はクリエイター育成も行いながら、全国から映画人が唐津に集い映画文化を発信できる地方創生の役割も担う。第3回唐津演屋祭には、前年110作品を上回る応募があり、その中からノミネートを約10作品選定。その後金銀銅賞をゲスト審査員である映画監督と審査し選定する。また、令和5年度から、よりお客様に映画祭への参加を楽しんでいただくために観客賞も設け、地域参加と地域の主体性の推進を行う。

※詳細は公式サイト参照 (<https://theater-enya.com/awards/>)

⇒予算の都合と開催時期の調整があり、令和7年度に「唐津国際映画祭」として開催することとなった。作品募集は令和6年11月から開始している。

⑥Let's Go 映画館&商店街～クーポン協力店事業

商店街でクーポン提供をする協力店を募り、地域の賑わいや回遊性を創出する。具体的には、映画を鑑賞した人は全て、協力店での割引など特典を受けられるクーポンチケットを貰うができる。

▼商店街協力店一覧 (<https://theater-enya.com/supporters/coupon>)

(実施スケジュール)

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(実施地域) 佐賀県唐津市

(主な受益者・人数)

佐賀県民・11,691人



⑦法人スポンサー情報発信事業

映画館を支えて下さるスポンサー法人を紹介するインタビュー記事の情報発信

▼スポンサー情報発信詳細はこちら

<https://theater-enya.com/supporters/sponsor>

(実施スケジュール)

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(実施地域) 佐賀県唐津市

(主な受益者・人数)

佐賀県民・11,691人



⑧学生サブスクリプションサービスの提供

佐賀県在住の小中高校生が、年会費 5,000 円で映画の見放題ができるサービス
(実施スケジュール)

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

(実施地域) 佐賀県唐津市

(主な受益者・人数)

佐賀県内、近隣の小中高生・加入者 15 人



(新規) ⑨フィルムコミッション事業の実施

映画『花筐／HANAGATAMI』の経験や様々な観光資源のナレッジ、地域のネットワークを活かし、唐津での映画製作の誘致および、映画を撮影したいクリエイターに対して、ロケハン、市民エキストラ・ボランティアの事務局業務を行う。クリエイターの支援をしながら、唐津の観光の活性化、唐津市民の多様な文化的機会への参加を促す。

令和 6 年度は下記 2 作品のエキストラ募集をサポートした。

・作品名：『架空の犬と嘘をつく猫』（唐津市出身・寺地はるなさん原作）

募集回数：21回

（実施スケジュール）

令和6年4月10日～4月21日

（実施地域）佐賀県唐津市、多久市、小城市

（主な受益者・人数）

佐賀県民・268名

・作品名：『GANG AGE』（SAGA SHORT FILM 制作）

募集回数：9回

（実施スケジュール）

令和6年11月3日

（実施地域）佐賀県唐津市

（主な受益者・人数）

佐賀県民・25名



（新規）⑩ライジングサン国際映画祭の誘致

毎年北九州で開催されていたライジングサン国際映画祭が、主催者の希望により今年から唐津で協働開催することに。世界中から長編、短編の映画が唐津の3つの会場で上映され、その前後には映画製作のワークショップなども実施。世界中から30人以上の監督が唐津に訪れ、唐津が文化都市として世界中に発信することに寄与する。

⇒⑤「唐津演屋祭」同様、予算の都合と開催時期の調整があり、令和7年度に「唐津国際映画祭」として開催することとなった。作品募集は令和6年11月から開始している。

<p>(5) 事業効果</p>	<p>(事業効果及び県民が受けた便益)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画を通じた地域活性化＝令和6年度動員実績は11,691名となり、県民の文化・教育の向上に寄与できた。 ・映画祭の開催は令和7年度だが、作品公募は令和6年11月より開始したため、映画祭を通じた人材育成や文化都市としての世界中への発信し、佐賀県の認知度向上に繋がった ・若者の文化教育の機会の創出＝学生サブスクリプションを実施することで、加入者は多くないが、認知度も徐々に上がり、若者の映画文化に対する意識の向上に繋がった。 ・高齢者のQOLを支える予防福祉的娯楽の機会を創出することにより、高齢者を孤独にさせない、生きがいを提供することに繋がった。 ・映画館を中心としたCSO,市民サークル活動などコミュニティを形成することで、地元の方たちの交流の場の提供に繋がった。 ・商店街を中心とした周辺地域の回遊性向上、地域消費や経済効果の向上に繋がった。 ・唐津での国際映画祭の開催は令和7年度だが、募集を令和6年度から開始しているため、世界中に佐賀県が認知され、開催時期にはインバウンド誘客へ貢献できる。 <p>(効果が及んだ地域)</p> <p>暮らす人々のQOL確保、観光誘客、若者の文化教育の機会創出＝唐津市を中心とした佐賀県全域、国際映画祭の告知＝唐津市を中心とした佐賀県全域、日本国内外のクリエイターなど、佐賀県全域中心に、世界中へ効果が及んだ。</p>
<p>(6) 連携先・連携内容 (県、市町、企業、団体等)</p>	<p>連携した団体及び連携内容</p> <p>いきいき唐津株式会社 (第三セクターのまちづくり会社)</p> <p>https://ikiiki-karatsu.jp/</p> <p>一般社団法人 Karatsu Culture Commission の事務局業務を委託する会社</p> <p>佐賀県唐津市京町 1783KARAE</p> <p>TEL : 050-1871-1430 FAX : 050-1871-1437</p> <p>MAIL : info@ikiiki-karatsu.jp</p>

※記載欄が不足する場合には、適宜、欄を拡大してください。